

---

# 小規模楽園

円とも

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

小規模楽園

### 【Nコード】

N1041B

### 【作者名】

円とも

### 【あらすじ】

人生に怠惰である。罪悪感すらわからない。突き詰めると、その意味さえわからない。理由らしい理由もなく、自殺願望が芽生えたサラリーマンの「俺」は、久しぶりに見上げた空の青さにただ見入っていた…。

## 01..動機

「とうとう来ちまったか…」

口にはわざとらしくだしてみたものの、実際それほどの感慨はない。思ったことといえば、この季節は

『天高く馬肥ゆる』

で

空キレエねー。くらいである。

空なんか見上げだの久々だ。

あさ、満員電車で中吊り広告を見、時々、あの腕時計サラリーマンが気軽にもてるようなモンじゃねえよ？

ってか、腕時計男ちっちゃ！

と、つり革にかかる腕と腕時計男そのものをガン見していると、いつの間にか下車駅に着いていたり。

会社に着。

麗しい：つーほどでもないか。受付嬢のオネエサマの横を、

「ちっ。出世に縁遠そうなヤロウが気安く見てんじゃねえよ」

と半ば自虐的なアテレコをいれつつ通り過ぎる。

オフィスに着いたら着いたで、四角いPCの画面を見たり、四角い

報告書を作成してみたり、四角い顔の上司に

『殺すぞ』

と言われてみたりしている。

職場の先輩は、フォローは一切しないものの退社後のアフターケアは大好物で、生中片手にご高説をたれてくれる。

「おりゃー、学生のころはよお…」

と、毎夜のように大学の弱小ラグビー部で主将をつとめたことを聞かせてくれる。

そんな時にも、特に見るものが無いから、お通しを盛り付ける居酒屋のオヤジのさびしい頭頂部を眺めたり、入り口をちらちらチェックしてカワイイコこねえかな、などと思ったりしている。

先輩の、小柄なわりに胸板が厚く逆三角形な体型が飲み屋の暖色系の照明になじんで霞む。

霞んできてるのは、俺の目のほうか。

いや、心の目のほうか。

霞んで霞んで、この目の前の先輩が俺の未来の姿かと、希望の光も

見えやしない。

飲み屋の便所で鏡の己の姿を見直す。

違和感のなくなったスーツ姿が霞む。

ここに違和感が残る。

漠然とした、未来への不安。未来の自分への疑い。

うん。

ひとことで言うと、今の俺、かっちょわるいんだ。

で。

我が社で一番空に近い場所へきた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1041b/>

---

小規模楽園

2010年10月10日01時24分発行